

## 天声ことも語

1セント硬貨はアメリカでもっとも少額の硬貨です。ペニーの愛称で知られています。そのペニーの製造が今月終わりました▼一枚つくるのに3セント以上かかるため、トランプ大統領が「無駄だ」としてやめるよう指示したのです。すでにカナダやオーストラリアでも少額硬貨の製造が終わっています▼日本でもっとも少額の硬貨は1円玉です。日本でも1円玉についての議論があります。今年2月の国会で「1円玉1枚をつくるのに約3円かかるといわれる。廃止を検討していますか」という質問がありました。「検討していない」と政府は答えました▼現金を使わない社会になるにつれ、1円玉の役割は小さくなっています。日本も製造をやめようという意見はこれからも出てきそうです。ただ、やめれば値段のひとけた合が切り上がつて、物価が高くなる心配もあります。1円玉は必要なのかどうか、考えてみませんか。

2025.11.26

今日の筆者 一色清 1956年生まれ。元朝日新聞経済部記者。元エラ編集長。元テレビ朝日「報道ステーション」コメンテーター。高校野球とアイスホッケーと囲碁と旅行と料理が好き。

●「天声ことも語」にタイトルをつけてみよう。



月 日 曜

書き始め